

特115

230

日市鐵道  
遊覽案内



始



は し が き

一週一日の楽しい日曜を御利用下さいまして、日帰り又は土曜から日曜へかけて一夜泊りの旅として、東京から片道二時間であつた秋川の流域をお勧め致します。

秋川は東京府の西端檜原村の奥から發して拜島で多摩川と落合ふ迄十二里の溪谷で、拜島から分岐した五日市鐵道は之に沿ふて山深ふわけ入るので、増戸より五日市を経て岩井に到る間車中居ながらにして秀麗絶佳な風光を擅にすることが出来ます。

一帯に名勝史蹟に富み、春は梅櫻の名所あり、夏は鮎漁場や天然プールがあり、秋は連山紅葉に、冬は狩獵に四時折々の情趣に無限の感興と滿腔の詩趣をそゝるに足る幽邃清雅の仙境です。

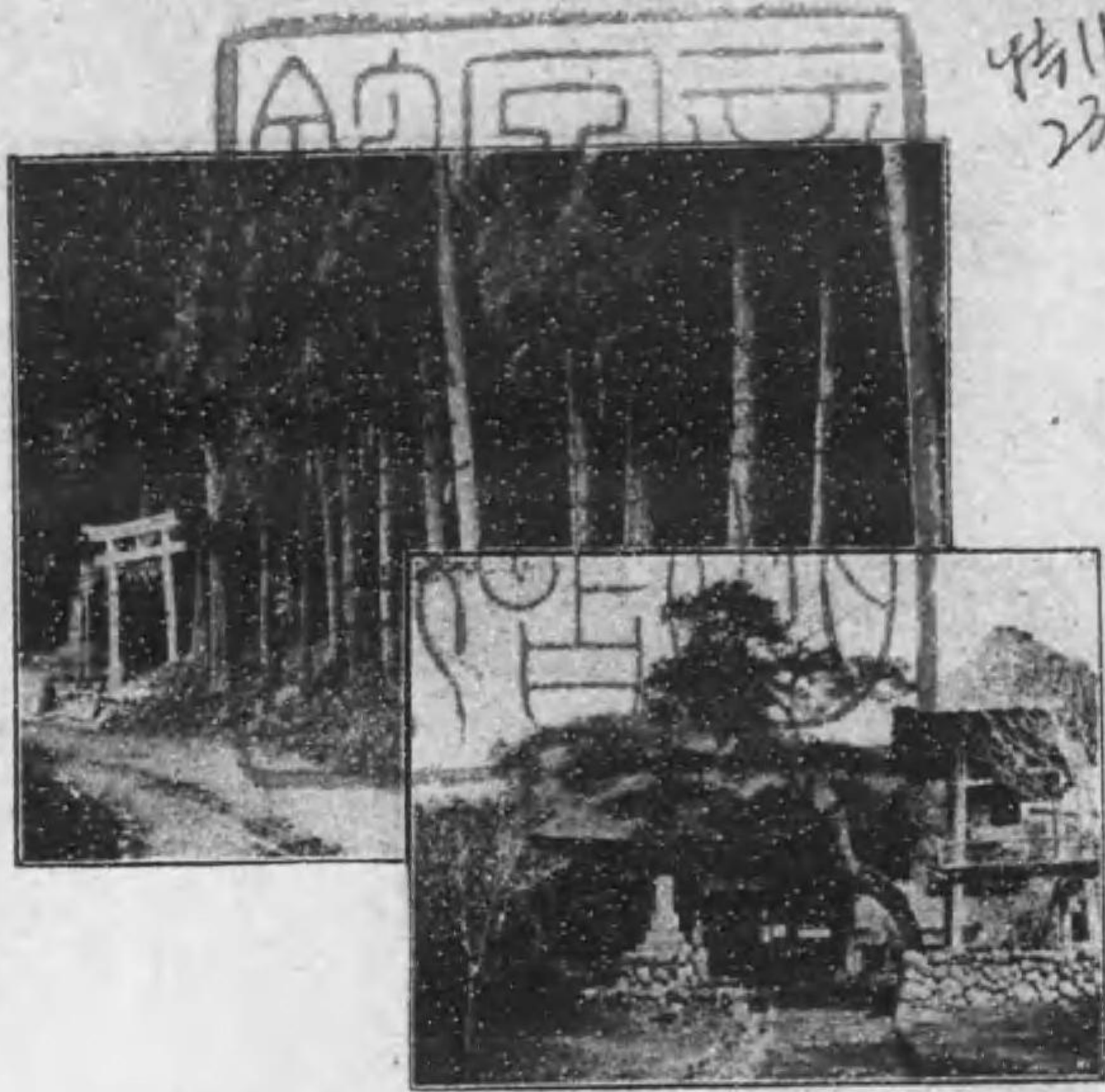
特に皆様御馴染の御嶽登山の歸り路は是非春は蕨狩りや秋は茸狩り紅葉狩りを兼ねて大嶽山を経て檜原村に出で、有名な神戶岩の奇巖を觀賞し秋川溪谷の奇勝を眺めて五日市驛より御乗車のことをお勧め致します。

今の處別段の設備もありませんが、都塵に染まぬ俚俗の純朴な點や昔ながらの自然の風物など、都の方には却て御氣に召すかと存じます。

次に其の行樂に適した重なる所を御紹介致します。

猶團体旅行者で御希望なれば前以つて御通知下さいれば湯茶の設備案内者を添へても結構です。旅館なども皆質朴ではありますが到る處に在ります。

47115  
230



尾崎觀音 二宮明神

東秋留驛

新宿驛より廿三哩三分汽車賃片道六十五錢

瀧山城址

驛の南方約二十町

多摩川秋川城址の裾を緩く流れ武蔵野一帯模糊として脚下に  
潤け變幻極りなき眺望を恣にする事が出来る、足利季世北條氏  
照の居城たりし所で高月の城山の嶺續きである俱に史蹟と勝景  
とを兼合せた所として敢て江湖に推奨する。

二宮明神 驛の東端

日本武尊御東征の砌此地を過ぎ給ひ國常立尊を奉齋し給ふと  
傳ふ實に武藏の二ノ宮で古へは國府に齋がれた六所の宮の  
ある。

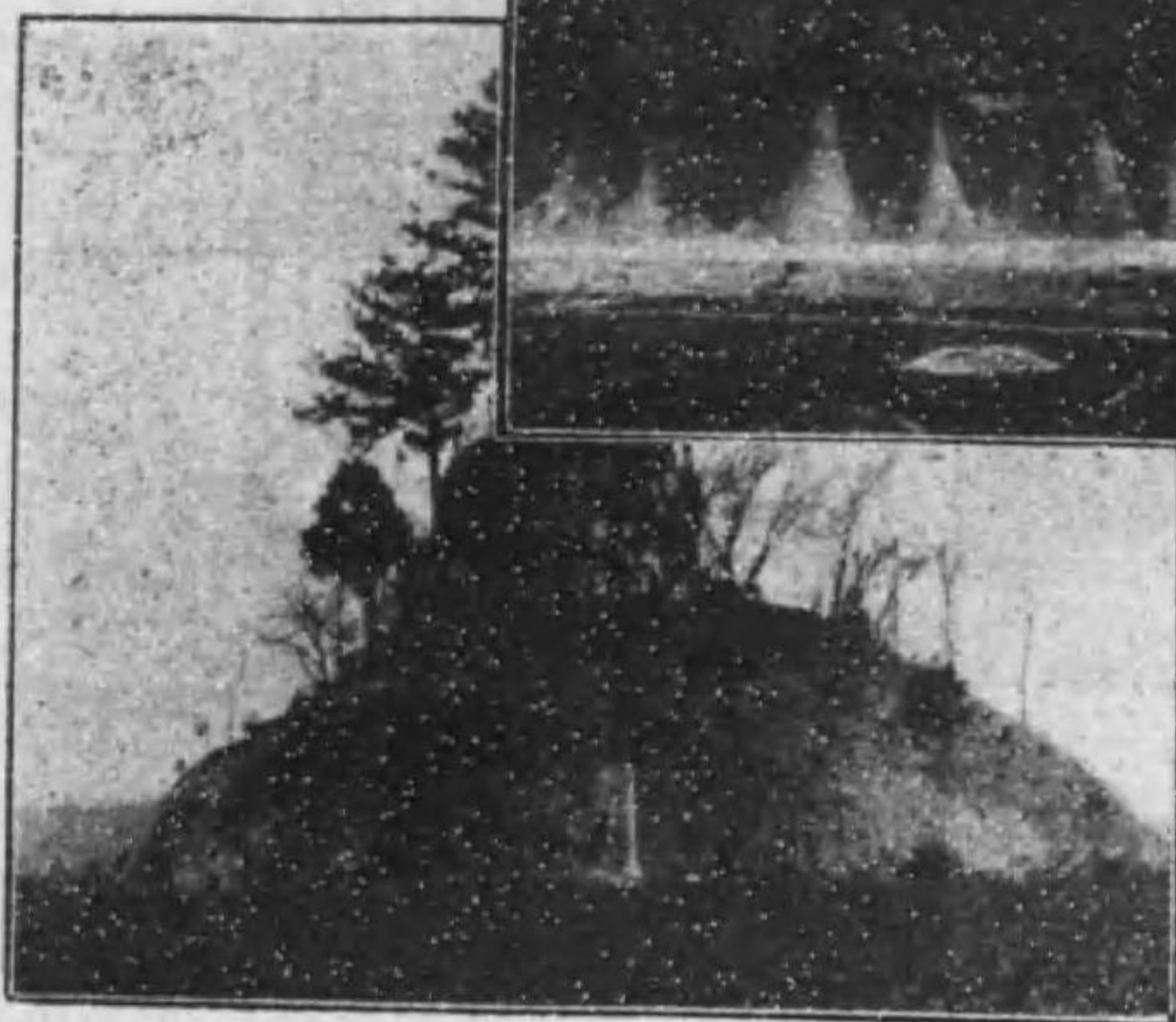
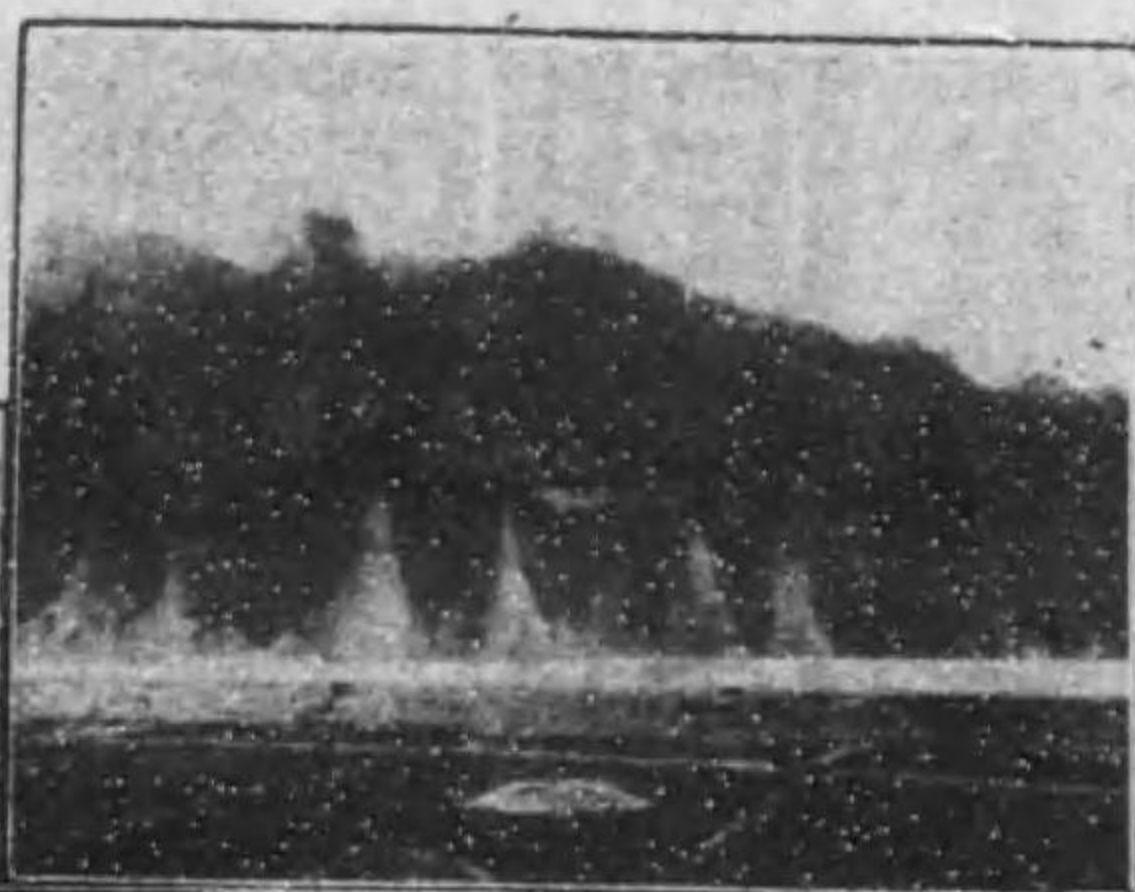
又の名を小川の明神と云ふ杉檜の茂つた社地の裾には清冽な  
御手洗の泉が沸々と湧いて森巖を極めて居る此の邊りは往古小  
川の牧の蹟で延喜の頃には良馬を産した。

西秋留驛

新宿驛より廿四哩八分汽車賃片道七十一錢

正 16  
15  
寄贈

寄贈本



六枚屏風塚 大塚

◎尾崎の観音

驛の北方二十町多西村尾崎

平井川に臨んだ丹い御堂の本尊は弘法大師作と傳ふる如意輪觀世音で寺傳に頼朝公別腹の子薩摩守忠國が母丹後局歸依の尊像と稱して居る近隣の尊崇を蒐めて靈驗赫灼なりとの信仰が深い。

◎大塚 驛の東方一町

(高サ三丈周圍七十三間の)圓墳形を呈して突出してゐる平安朝以前の古墳であらうとの事である。

丘上稻荷社を祠り附近から古代の土器石器が多く發見される此の塚の西方十町ばかりの所原中に小さい塚があり四五百年にもなる縦の大木が生茂してゐるこれも同様な古墳かと云はれてゐる。

◎二城山 驛の南方十町

秋川の南岸千代ヶ崎を謂ふ要害澤と稱する深溪の頂上平坦東

網代玉の湯



辨天山洞窟

西十間南北十五間秋川に臨みて斷崖絶壁をなせり處々空渟の跡を指摘し得天文永録の頃高月城主大石信濃守定久の族大石某南多摩郡戸吹村根小屋在城の時此山に望樓を築きし跡と謂ふ峯傳ひ約一町根小屋に通ず。

◎六枚屏風 二城山の西

秋川の碧潭に臨んで斷崖自然に突出して六枚屏風の狀を爲し聳つ事數丈造化の妙を極めてゐる。

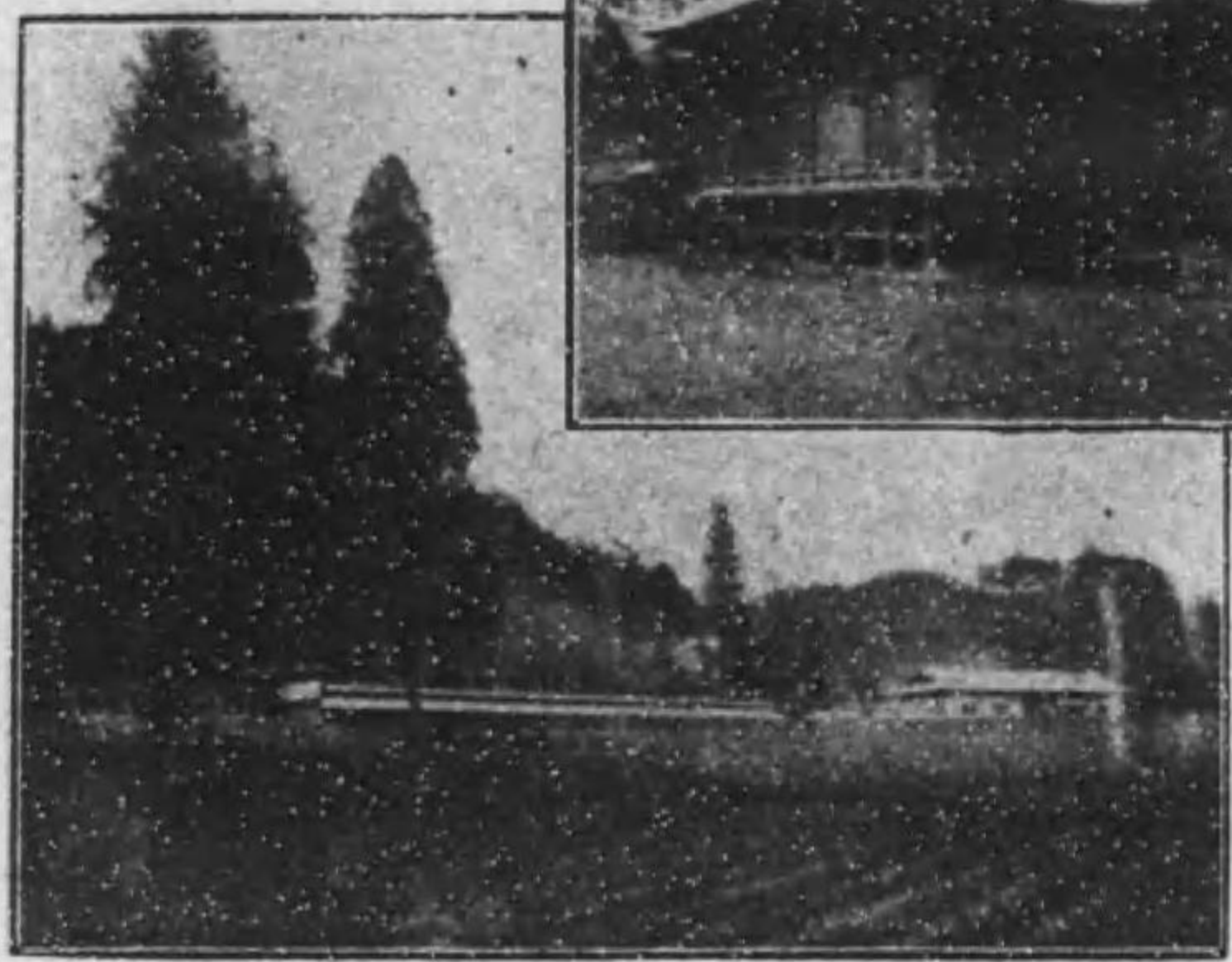
此の邊一ノ澤二ノ澤三ノ澤の勝景を有し紫躑躅最も多く眺望秀麗昔て伊藤銀月氏は天下の奇勝と讚嘆した。

◎武藏増戸驛 新宿驛より廿六哩四分汽車賃片道七十八錢

◎網代温泉 驛の南方十町 温泉旅館宿料貳圓五十錢

◎辨天山

秋川の對岸辨天山麓の溪谷より湧出し徳川中期の發見に係る鑛泉で貧血萎黃症婦人病に特效あり鐵道の開通と同時に株



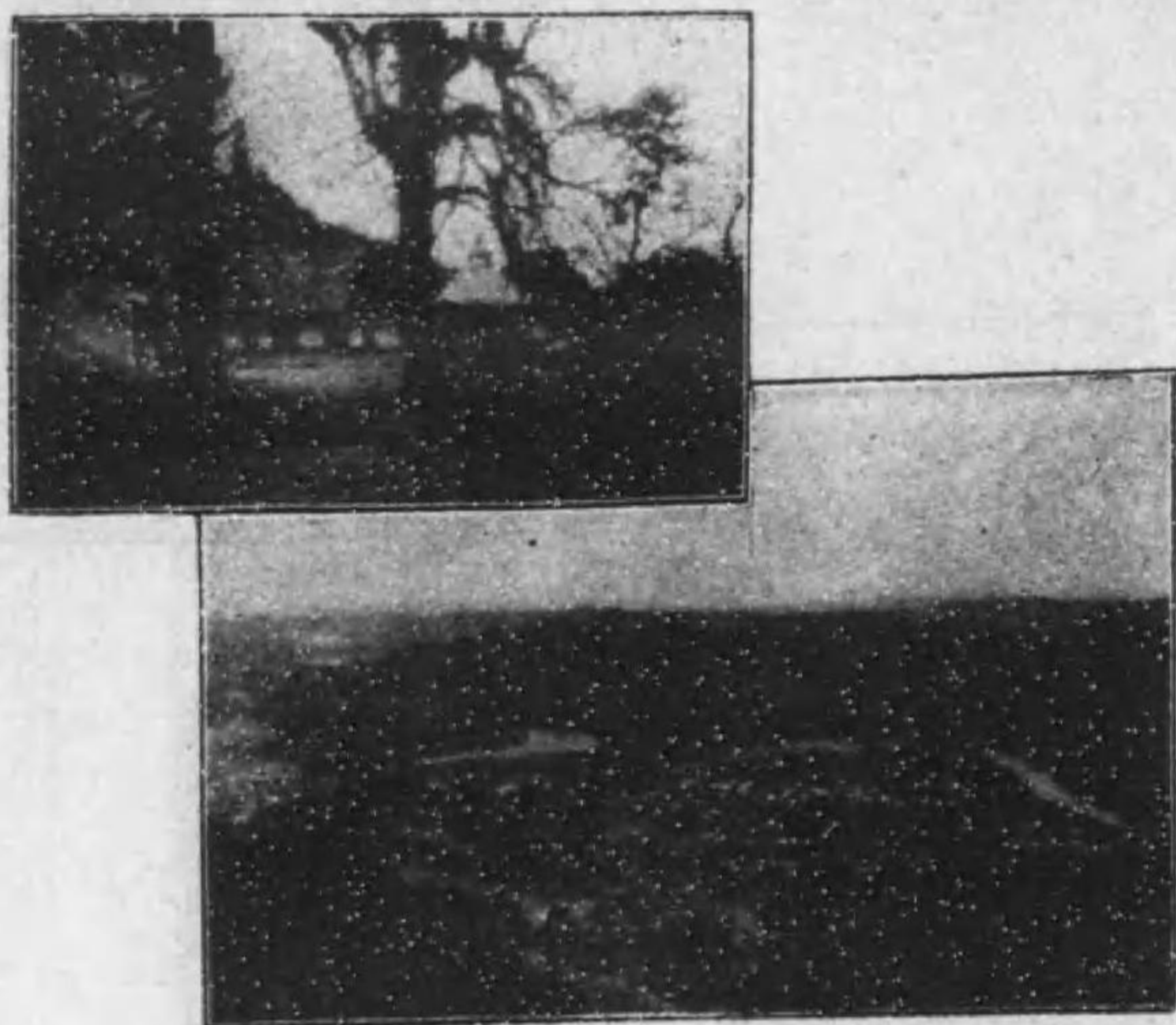
阿伎留神社 大悲願寺

式組織として温泉旅館を經營す、辨天山の中腹に大なる洞窟があり多門大黒の石像が安置されてある、櫻及躑躅の勝地である、附近に畠山重忠の駒繫ぎの松と馬蹄を印したる御前石とがある、温泉場下の川瀬は秩父長瀨の景以上にして此の附近一帯天然のプールをなせり。

◎大悲願寺 驛の西方十町

眞言大道場にして開基は右大將頼朝開山は澄秀僧正建久二年正月平山季重の造立に係る。

代々碩學の高僧輩出し（正親町天皇後陽成天皇の勅願所となり北條豊臣徳川諸氏の尊信が厚かつた）十五世秀雄は伊達政宗の末子である政宗屢々當寺に遊び境内の白萩を愛でて所望した狀が傳はつて居る（仙臺萩の由來と稱せられてゐる）殿堂整然丘陵を負ふて誠に府下有數の大伽藍である政宗が寄贈の海國地圖日本最古の木活字其他佛教古文書が數多ある。



金比羅山 廣徳寺

◎玉の内鐘乳洞 驛より十五町

極く最近の發見に係り未だにその深さを極めたる者なし。

◎岩走神社 驛の西方十町

寛政六年九月時の神主職宮澤安通京都の卜部良惧の斡旋に依り藏人頭左近衛權中將源通知朝臣の奏聞を以て正一位の神階を奉授せられたり今に光格天皇の位祀を社寶となせり例祭九月十三日。

◎伊奈石

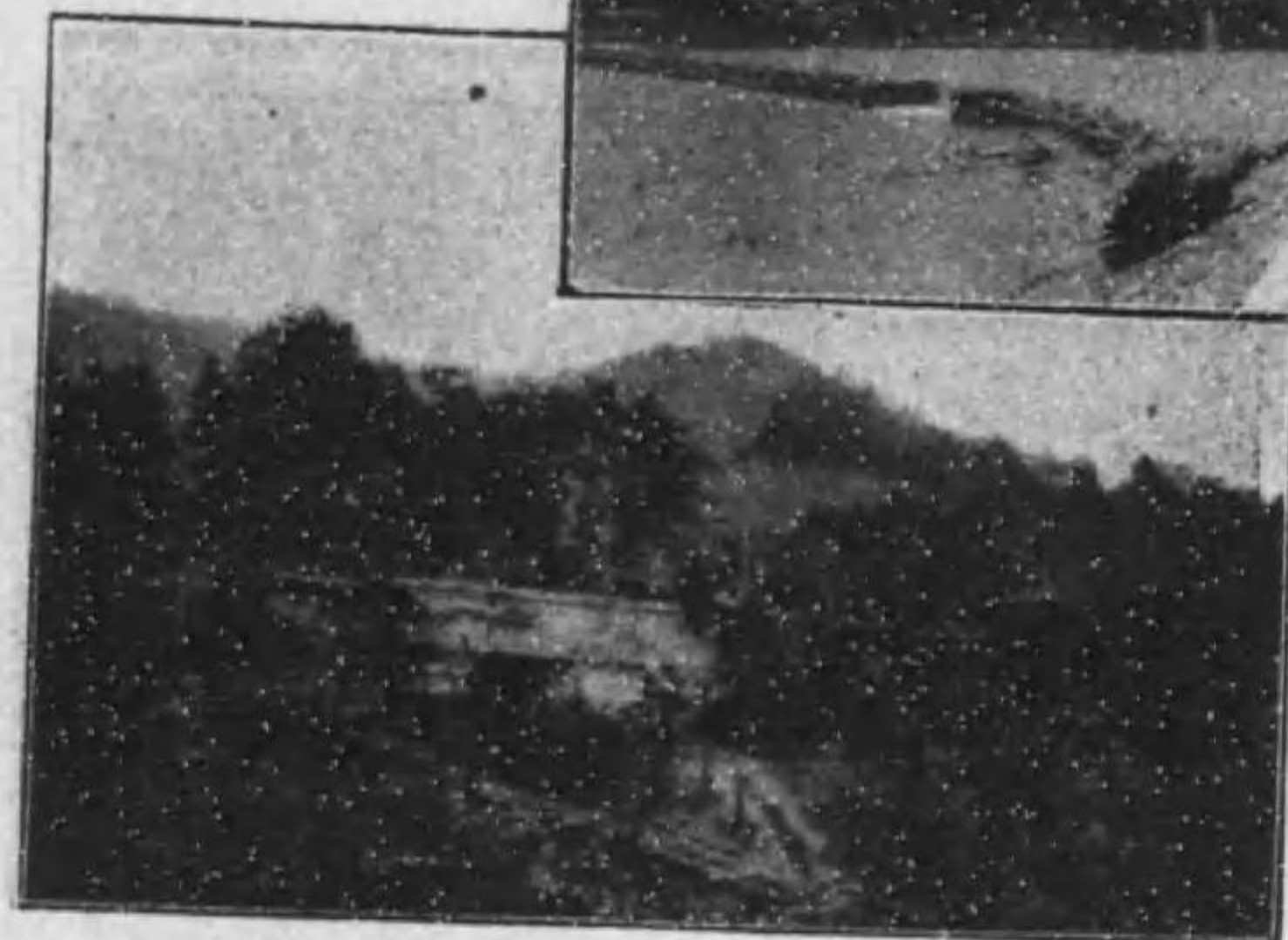
此の地一帯の山は岩石より成り江戸城築城の際堀出せしものにてその跡歴然たり武藏増戸驛の附近より土器石器を發掘し得

◇武藏五日市驛 新宿驛より廿八哩一分汽車賃片道八十四錢

◎阿伎留神社 五日市町に在り驛の西方五町

秋川に臨み老松古杉陽を遮り古ながらの神境である。

崇神天皇七年勅により創立延喜式内舊社である。足利尊氏奉



院 光 開 流 清 川 秋

納の銅鏡義家胸懸鏡其他社寶の見るべきものが多い例祭九月二十九日。

斯うした史的興味以外に遠足地として絶好の地である。

◎金比羅山 驛の西方十三町

五日市町の後方に聳ゆる丘陵で山上には琴平神社が祠られてある神社の背後には天狗岩と稱する巨巖が重疊して雄大な景趣を添へて居る。

頂上からは近くは五日市附近の一帶遠くは秀峰筑波に及べる關東の大平野を一眸の中に收め秋川多摩川の流域が溪谷と平野を縫ふて微かに雲際に消ゆるあたりは得も云はれぬ絶光の風光である、往昔は山腹より頂上にかけて満山悉く櫻で琴平神社の參詣雑踏を極めた今は古木の多くが枯れたが新たに植栽したのが既に全山に花を見せてゐる今後數年を経ば小金井以上の勝地たるべし。



楨野高山白 林梅尾高

◎廣德寺 町の南方驛より十町

秋川の右岸に川を隔て、對峙し五日市盆地を望み幽邃の妙境である。

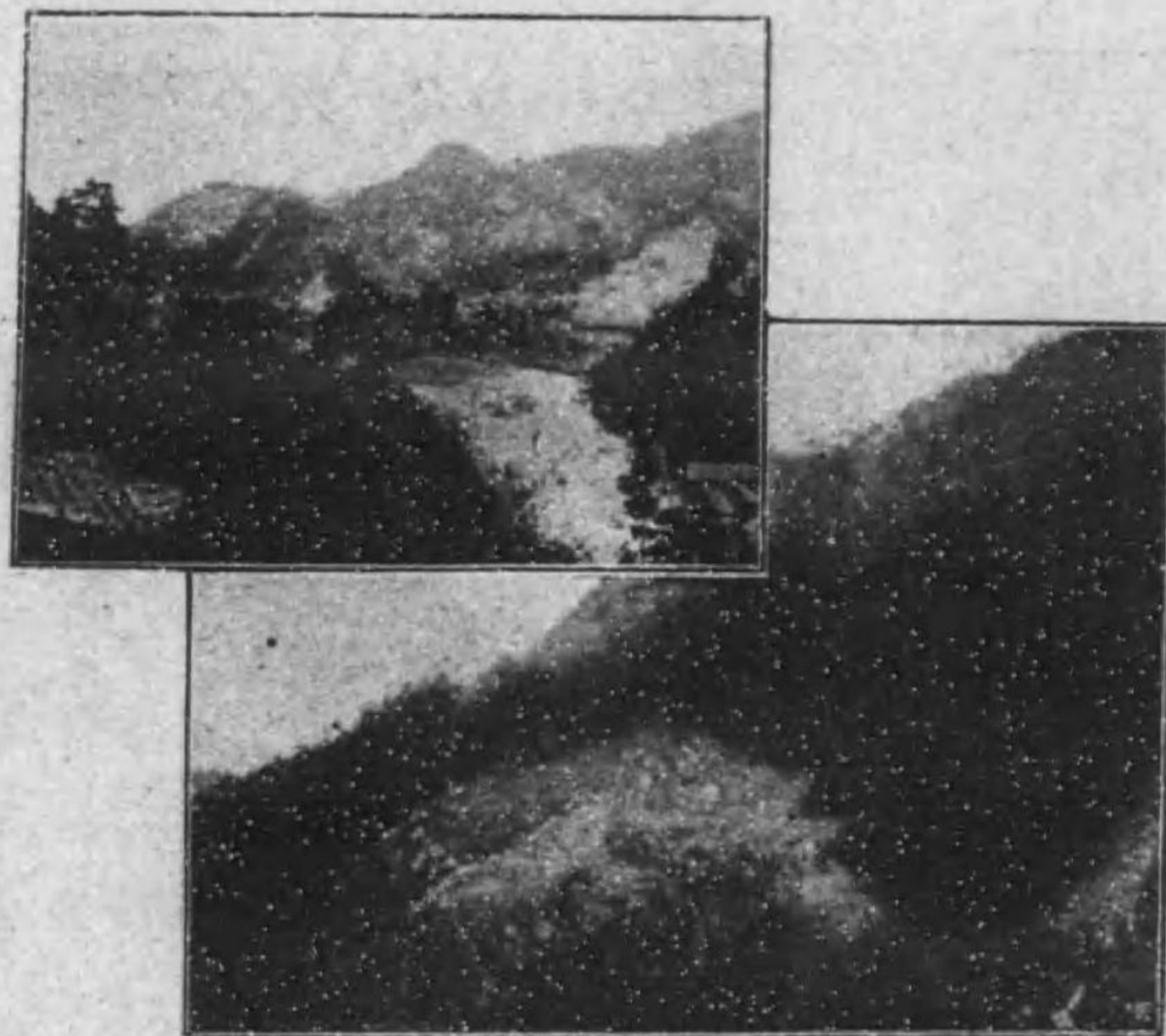
鎌倉建長寺末臨濟宗で古より寺内廣大殿宇宏大北條氏康、氏照、氏政、氏直等の崇敬が深かつた山門を入つた所の公孫樹は齡五百年大日本靈樹名木誌に載つて居る。

◎秋川と鮎漁

本鐵道に沿ひ洑々として東に注ぐ清流が秋川である鮎の豊産を以つて特に聞えて居る彼の相模川の産に比して遙に優秀なのは事實である若し夫盛夏の候碧潭に臨みて一度此の地方獨特の鮎漁を試みたものは其快絶なるに寧一驚を喫するであらう。

◎秋川とプール

清冽なる秋川は屈曲する毎に淵をなし到る處に天然のプールを作れるも特に武藏五日市驛下小能淵及武藏増戸下車網代温泉



山 熊 今 山 灰 石 峯 勝

下瑞雲寺淵等は特に好適の箇所なり。  
◎高尾梅林 驛の東方十町

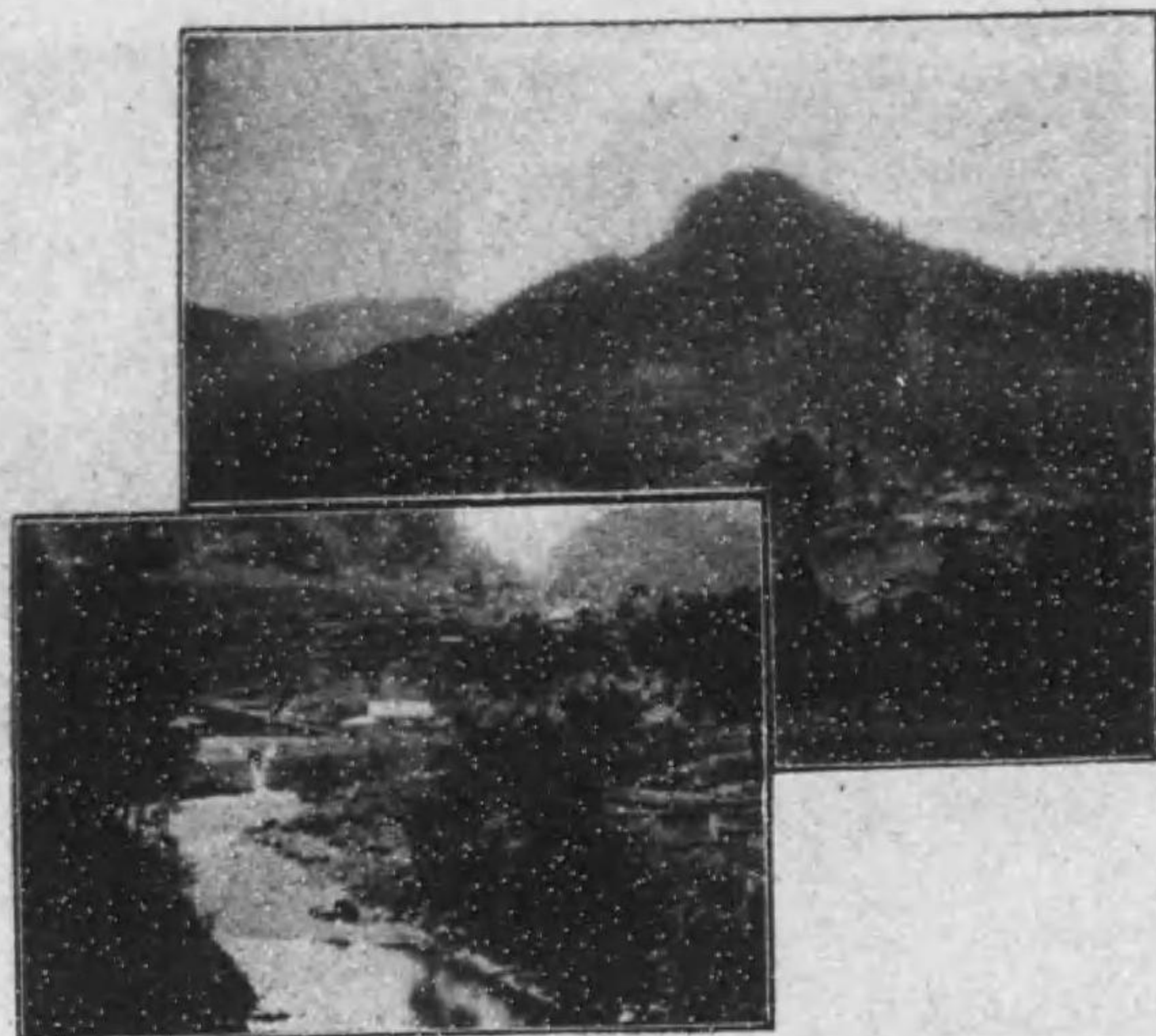
大光寺の古刹を繞りて一帯梅樹を以て埋む花季農家點在する花間から西方秋川の清流と五日市盆地を通じて城山光明御嶽大嶽の諸峰を望める風光は滿腔の詩趣をそゝるに足るものがある前に大悲願寺あり後に辨天山あり敢て一日の清遊を勤む。

◎今熊山 驛の南方一里(南多摩郡川口村)

登り十八町絶頂に熊野權現を祀る此山の靈驗な事は人の行方不明の者ある時は遠國より尋ね來る村民が鉦と太鼓を持つて三度社を廻りながら其人の名を呼べば必ず驗があると云ふ一名を呼はり山と云ふ此附近は夏季の天幕生活に絶好の場所なり。

◎戸倉村

本村は東西二十五町南北一里二十町面積凡千九十町歩戸數貳百三十戸程にして山間に介在せる一小村なれども自治機關完備



山 城 倉 戸 所 電 發 力 水

し明治四十三年内務大臣より選奨せられ同年青年團も表彰を受け村治及施設事業等見るべきものあり。

◎戸倉の城山 驛より十八町 (戸倉村)

盆堀川秋川の兩川山の裾を繞り巖石嶮崖屏立せる天然の要害である。戰國の頃此の地に覇を唱へた小宮大石氏などの居城であつた山頂の眺望は沿線第一であらう。

東は秋川溪谷の全景を俯瞰し西は武甲の連嶺を仰望し山氣秀靈一度は筈を曳くべき地である。

◎秋川水力第一發電所 (戸倉村)

大正十年一月起工 大正十一年二月竣工

發電力 三百五十キロワット 水路延長 千三百餘尺

落差 八十九尺 總工費 二十八萬圓

府下唯一の水力發電所なり。

◎光明山 小宮村に在り驛より二里



山 明 光 流 の 澤 拂

頂上に熊野三社を祀る御嶽大嶽と俱に此の山を踏破するを三山がけと稱して參詣するものが多い。

雉子山鳥の類多く此の邊りは狩獵家間に喧傳さるゝ所である  
◎拂澤の瀧 檜原村に在り驛より二里半

峨々たる山巖に懸つて三段の瀧がある其の上なるは高さ二丈餘り最も大なるは高さ五丈餘り檜原谷中の名瀑である神戸岩と俱に是非探勝に値する仙境である附近に檜原城址あり平山武者所季重以來秋川沿岸に勢力を振つた平山氏の居城である。

◎神戸岩 檜原村、驛より三里半

大嶽山の西麓峻峻相迫る處に巨巖左右に聳ちて清流を遮る北なるは高さ三十丈南なるは二十五丈兩者の間九丈巖根は接續して恰も一大門扉を鎖した如である溪水其間より奔逸して飛流となり深淵となる俗塵を脱した千古の仙境である殊に躑躅及丹楓の候切に探險を勸む。



神 戸 岩



大 嶽 神 社

◎大嶽山 檜原村、驛より三里半 海拔四千餘尺

日本武尊御東征の御登臨國狀を御觀望あらせ給ひし舊蹟で頂上大武神社に尊も合祀してある。

郡内隨一の高峯北は甲武信十文字雲取西は小佛三國御前の諸嶽に連り武相の平野東京灣一望の下に在り山容雄大なるを以て大嶽と稱する。

◇大久野驛 新宿驛より廿九哩四分汽車賃片道八十九錢

◎白山神社 驛の東方八町

山上からの眺望は關東平野を眼底に收めて雄大である社前の高野槇は圍り一丈六尺高さ十五間齡八百年の名木である。

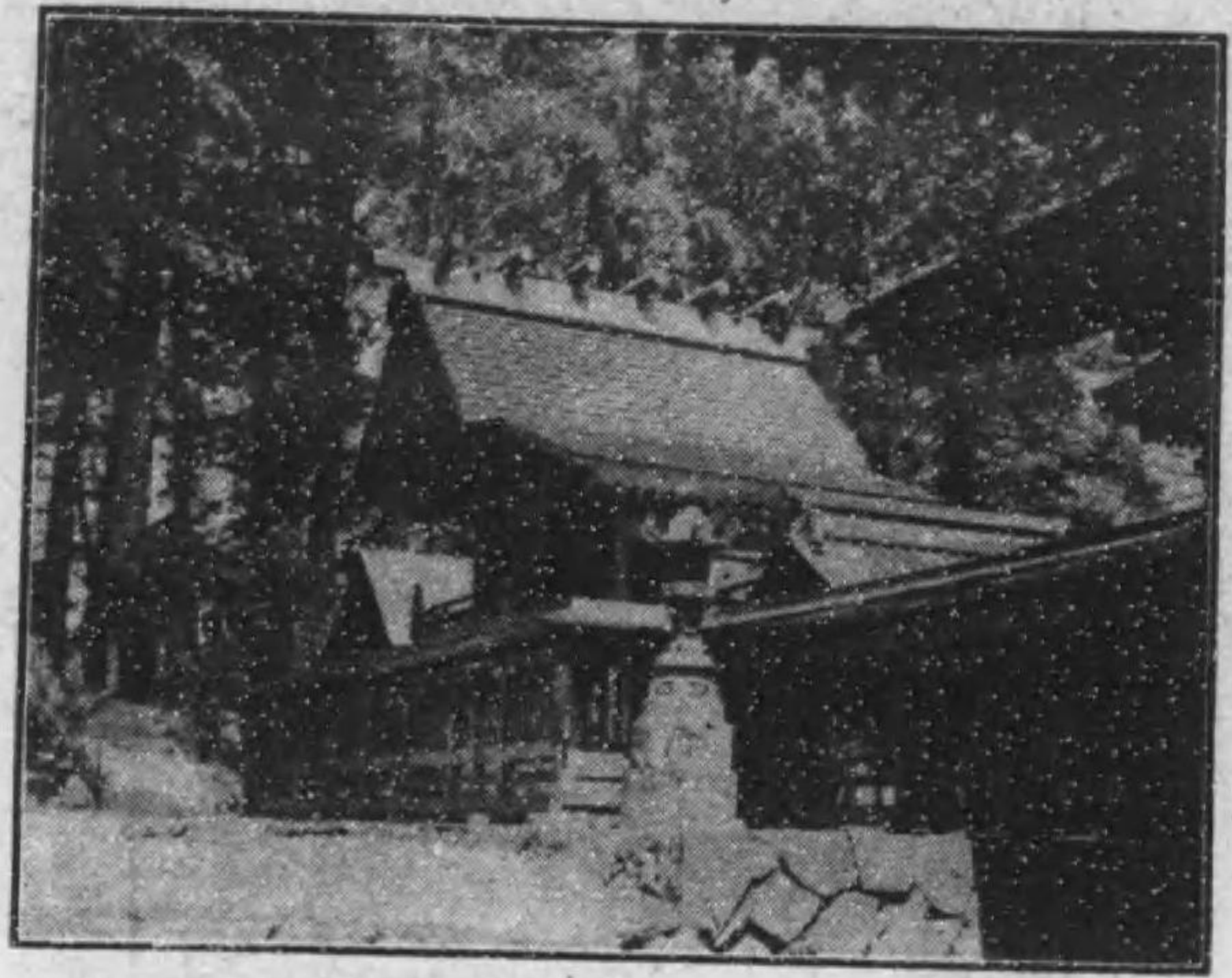
◎玉ノ内鐘乳洞 驛の東方十町

◇武藏岩井驛：新宿驛より廿九哩八分汽車賃片道九十一錢

◎勝峯石灰山

驛より僅か數町にして其の山麓に達すの産出豊富礦質の優





御嶽神社

良關東無比の大石山である。

此の山中に將門一夜の城址と云ふがある將門此の地を過ぎて青梅の方へ行つたと傳へられて居る。

◎御嶽山 驛より一里半

山頂面積凡百餘町歩海拔三千餘尺の峻嶺なり土地肥沃殊に杉扁柏の繁茂せるは恰も大和吉野山の感あり。

山中景勝は男貝那峰の紅葉丸山の晚鴉殊に日の出山展望廣く武藏の平野は手に取る如く筑波の翠黛房總の諸山三浦半島江の島も指呼の内にあり七代綾廣の兩瀑、富士峰の櫻花等なり。

高山植物の採集避暑の好適地と稱せられ盛夏の候と雖も自然に涼味を覺え心氣清爽神秘の境にあらしむ。

登山方法は先にも記せし如く武藏五日市驛下車光明大嶽本山と三山がけ登山も面白く又往路は青梅口より登山し歸路を三山廻りに取るも一興なり。

御休所  
飲食  
荒物雜貨

拜島驛前

内出商店

鐵道荷物運送業

多摩川産砂利、玉石、  
石炭、練炭、ストーブ類販賣

青梅線拜島驛前五日市線分岐点

國際運輸株式會社取引店



安藤運送店

鐵道荷物運送業

米穀類、肥料類販賣  
五日市鐵道指定荷物取扱

青梅線拜島驛前五日市線分岐点

內國通運株式會社取引店



森田運送店



五日市線東秋留驛前

內國通運株式會社代理店

杉田運送店

荒物雜貨  
砂利玉石

東秋留驛

長谷川周吉商店



醬油釀造元

東秋留驛

早川勝五郎

武州五日市線東秋留驛前

御料理壽司

鮎漁御案内

末廣家

和洋御料理仕出し

笹乃雪

武州五日市線東秋留驛二宮通

御料理  
御旅館

鶴家

簡易食堂

富久屋

武州五日市線東秋留驛二宮通

御料理仕出し  
鮎漁御案内

小金家

御料理仕出し

鮎漁御案内  
二ノ宮劇場主

中屋

御料理仕出し

鮎漁御案内

秋川

新藤喜與作

西秋留村原店

銘酒千代鶴

焼酎國盛

醸造元

西秋留村牛沼

中村八郎右衛門

割栗  
石利石  
玉砂



荻島運送店

內國通運株式會社代理店

武藏增戶驛前



醬油  
釀造元

西秋留村

大正醬油釀造株式會社

振替東京五四六五一番

第一製造場 西秋留村油平二二二番地

第二製造場 東秋留村雨間七三九番地

吳 太 荒 肥 米 木  
服 物 物 料 穀 炭  
セ メ ン ト

增戶村山田

師岡商店

增戶驛前

師岡商店出張所

吳服荒物

西秋留村油平

瀬沼商店

振替東京一五八二七番





貨物取扱處

西秋留驛

瀬沼運送店

御料理

大久野驛下車

仕出し

東へ四町

松の家

銃獵御案内

白山神社へ三町

御仕御  
料出料  
理し理  
御中食

大久野驛下車  
東へ二町

宮田屋

ゴム足袋  
仕立物  
足袋地原料  
メリヤス類  
卸小賣

東京府五日市町



大井屋商店

馬場筆三郎

振替東京四二三〇六番  
電話五日市五十一番

お買物は……花屋吳服店へ

家	化	小	太	吳
	粧	間		
具	品	物	物	服

屋花余

町市日五府京東

花屋吳服店を……お忘れないう様に

御	足	メ	染	筆
祝		リ		
儀		ン		
物	袋	ス	物	筒
一				
式				

店服吳

番一十話電

貨物運送取扱所



武藏五日市驛

内國通運株式會社代理店

内山運送店

電話 四六番

石材

炭木

商

五日市町

内山龜之助

電話五日市三七番

賣場 武藏五日市驛前

御旅館

東京府五日市町上町

油屋

電話五八番

御御  
旅料  
館理

五日市町

鶴屋

電話二六番

貸 御 藝  
料 御 妓  
席 理 家

五日市町

秋川亭

電話五日市四二番

東京府西多摩郡五日市町

泉

いづみや呉服店

電話五日市三番  
振替東京一六六一八番

米 穀

松本製粉特約店

星 野 支 店

電 略「五ホ」

西多摩郡五日市驛前

貨物運送業

武藏五日市驛前

新通取引店

 内田屋運送店

電 話 三 一 番

武藏五日市驛下車

東へ参町

内湯御旅館

御料理仕出し

銃獵御案内

藤

の

湯

増戸村三内

海産物

五日市町

木炭商



宮崎商店

乾物

電話二一番



五日市町

# 源 栗原吳服店

電話 二二二番

振替東京二七四三五番

武藏五日市驛前

江戸前  
御手輕  
和洋  
御料理仕出し  
だるま

武藏五日市驛前

明治運送株式會社  
五日市取引店

五日市運送店

店主 栗原源次郎



鐵道貨物取扱  
國際運送株式會社代理店

武藏五日市驛前

石川運送部

乘用貨物

五王自働車部

店主 石川 虎一郎

電話五日市四四番

絹織物製造

五日市町

島田廣之助工場

電話三八番

立 府

第二中學校  
農林學校  
織染學校  
第二商業學校

制服御用

五日市町

內山洋服店

電話五日市 六番  
振替東京一五六二八番

又  
海產  
鮮魚

五日市町

魚又號

商 大村又右衛門

電話 一九番

米穀紙類

五日市町

木炭石油

合資  
會社



利倉屋商店

鹽元賣捌

電話一三番

御料理

五日市町三七番地

仕出し

紀伊國屋

御手輕御中食

電話二〇番

和歐百貨書籍文具

五日市町四四番地

度量衡器酒類菓子

内野屋

沼晋太郎

食料品類

電話 二一九番

振替 一二七六七番

下駄荒物

多木肥料特約店

肥料紙商

五日市町

山口屋

峰岸常太郎

油木炭

電話 四一番

御料理  
仕出し

五日市町

藤の家

電話三三番

木炭問屋

和泉屋號

五日市町

松本高一郎

電話一〇番

登 錄 銘 酒 商 標



東京府西多摩郡戸倉村六拾二番地

中村屋號

釀造元 野崎喜三郎

五日市驛前

支店 中村屋

笹川周二



製麵所

五日市町

岸忠左衛門

壽美屋

電話一八番



標商 錄登

お醬油ハ

合ニヤマニ

安永元年創業

味がよい  
きりがよい

樽詰  
壺詰

町川立府京東

店本場造釀油醬合

番三四話電

場工店本 町川立府京東 工場  
場工藏元 村羽府京東

大久野村羽生

山羽生製材所

製品

角材 板類 板貫 朶板 電柱

多少ニ拘ズ御注文ノ  
程願ヒ上候

内國通運株式會社代理店



羽生運送店

大久野驛前

主要  
産物

木材、庭石  
割栗石  
石灰石



297  
324

大正十五年三月

發行所 五日市鐵道株式會社

電話五日市四三番

東京府西多摩郡青梅町一三六

印刷所 大正堂印刷所

電話青梅三番

醬油界の霸王



品質本位の

△ヤマニ醬油は

食膳に花を

咲かせます

各地販賣店ニテ

御買求メヲ願マス

297  
324

大正十五年三月

發行所 五日市鐵道株式會社

電話五日市四三番

東京府西多摩郡青梅町一三六

印刷所 大正堂印刷所

電話青梅三番

醬油界の霸王



品質本位の

ヤマニ醬油は

食膳に花を

咲かせます

各地販賣店ニテ

御買求メヲ願マス

鑛泉  
御旅館  
あじろ館

武蔵増戸驛南へ七町

網代温泉株式會社

眼下に流る、秋川の清流は多摩川に合して  
遠く東に展げ西は御嶽大嶽の諸峯より秩父  
山麓に連る連山四時の風光絶佳なり

終

五市鐵道株式會社

電話四三番